



議会だより

第 209 号

令和 7 年
1 月 16 日
発行



岩手県岩泉町議会

いわいずみ



- P 2 入学祝い金の創設を
議会から町に 6 項目要望
- P 6 町産材の供給体制を強化
- P 8 町の考えを問う
(7 議員が一般質問)
- P 13 どうなりゃんしたあの提言

シリーズ キラッと光る人 9

本年の小川みずまつり隊長の竹花敦さん^{あつし}(小川・40 歳)。長年まつりに携わり、節目の厄年に大役を見事果たしました。自身と家族、地域住民の無病息災・家内安全・五穀豊穡など祈りながら走りました。【撮影場所：隠里弁財天(採水地)、関連 16 頁】



畜産・酪農振興策を

【背景】

畜産・酪農家の経営は、国際情勢・円安に伴い逼迫。個々の努力だけでは経営継続が困難な状況にある。

【要望内容】

- ◆短角牛などのイベントを再開して、県内外に短角牛の魅力を発信し、短角牛肉の販売促進を
- ◆大牛内育成牧場は、早急に大規模改修を行い、受託頭数の拡充を
- ◆堆肥センターの堆肥受け入れは柔軟に対応し、規模拡大した畜産・酪農家の負担軽減を

ますの声

佐藤幸二さん まつりでPR
(大川・58歳) 焼肉や試食を

短角牛肉の販売促進・PRに、まつりやイベントで焼肉や試食コーナーを再開できればいいなと思います。堆肥センターが受け入れ不可であれば、困っている農家の処理方策の相談や支援策を切に望みます。



介護サービス 充実と継続を

ますの声

地区全体の
死活問題に 大崎善一さん
(安家・72歳)

安家地区は独居高齢者が多く、今後デイサービスなどが受けられなくなると、地区全体の死活問題です。町では、空き校舎を活用するなど検討してほしいです。



保護者と児童生徒へ スマホ教室の実施を



【背景】

スマホの使用が低年齢化。学習に支障をきたす子どもが出てきている。睡眠時間への影響やSNSでの人間関係のトラブルなども危惧。学校の指導は限界があり、家庭での指導が重要である。

【要望内容】

- ◆義務教育期間に保護者と児童・生徒向けに、学齢に応じたスマホ教室での啓発を事業化し、継続実施すること

ますの声

崎尾円さん(有芸・42歳)
心春さん(12歳)
俐心さん(9歳)
圭喜くん(7歳)
緒心さん(2歳)



身近な問題で 学校の指導を

有芸小でスマホを使っていることは聞いていませんが、報道などでトラブルがあることは知っています。
身近な問題でもあるので、学校から指導していただければ安心です。

【背景】

深刻化する人手不足とコロナ禍、物価高などによる経営悪化で、町内の介護事業者の事業廃止・休止が相次いでいる。介護現場の人手不足は長期化・深刻化。今後の介護サービス提供に不安がある。

【要望内容】

- ◆介護サービスを、充実・継続して提供できるよう、中心的な団体である岩泉町社会福祉協議会との密接な連携を図り、情報共有や対応策の検討を行うとともに、必要な支援を講ずること



出産祝い金増額と 入学祝い金創設を

【背景】

町の出生数は、5年度23人、6年度は19人の見込みで危機的状況。子育て世代から選ばれ住み続けてもらえるよう、突出したさらなる子育て支援の充実が必要である。

【要望内容】

- ◆第2子、第3子以降の出産祝い金の増額を
 - ◆経済的負担を軽減するため、入学祝い金の創設を
- 出産祝い金と入学祝い金の合計額は、第1子30万円、第2子50万円、第3子以降は100万円に

ますの声



町の少子化
肌で感じる

箱石楓さん
(岩泉・28歳)

6歳と2歳の子がいます。下の子の同級生は町全体で20人弱と、町の少子化を肌で感じています。
上の子は4月に小学校入学ですが、節目の時にお金がかかるので、入学祝い金があると助かります。

商店・ 小規模事業者の振興

【背景】

町内商店は、購買者の町外流出や人口減少、大規模店舗出店で経営が困難になってきている。コロナ禍、原油・資材、物価高騰が拍車をかけ、小規模事業者も厳しい経営をしいられている。

【要望内容】

- ◆「町中小企業・小規模企業振興計画」の実効性を図り、更なる小規模事業者への振興策を
- 特に、商品券などを活用した町内での需要喚起をはじめ、新たな創出の取り組みを



ますの声

経済振興策
期待します 小川茂美さん
(小川・71歳)

物価高騰などで大変な情勢のなか、龍ちゃん商品券などの経済振興策を講じてもらうのは、商店や買い物をする皆さんにとってありがたいと思うので、期待します。



漁業後継者の育成を

【背景】

漁業者、漁協組合員は減少の一途である。

【要望内容】

- ◆水産業振興を担う人材の育成施策のさらなる取り組みを

おしえてぴーちゃん

厳しさ増す漁業

- *漁業者不足
高齢化の進行と収入や将来への不安などから新たな担い手を探すのが難しい
- *収入の問題
魚の値段が思うように上がらない
うえ、漁船の燃料費など経費はかさむ一方
- *温暖化など環境変化
海水温の上昇でサケやアワビなど不漁が続く

入学祝い金の創設を

議会から町に6項目要望

町議会と町議会政務調査会（坂本昇会長）は6年12月10日、7年度の町の施策に対する要望書の中居町長に提出。
入学祝い金の創設など6項目を要望しました。要望の内容と町の皆さんの声を紹介します。



三陸鉄道の経営安定化対策 (沿線市町村の負担金) **490万円**

三陸鉄道株式会社に対し、運行の維持確保と経営の安定化を図るため、岩手県と久慈市から大船渡市までの沿線市町村が支援を行うもの。



龍泉洞まつり運営補助(関連7町) **232万円**

県の補助事業を活用し、龍泉洞の冬期間の誘客に取り組む。本年度から3年間の実施を予定。

12月定例会で可決された 主な補正予算事業

福祉灯油助成 **1120万円**

灯油価格高騰での家計負担を軽減するため、住民税非課税の高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯と生活保護世帯に対し、暖房費の一部を助成。1世帯当たり1万円、生活保護世帯は8千円を支給。



ふるさと納税謝礼 **4900万円** (通計1億2045万円)

ふるさと納税の返礼品調達に係る費用を追加。ふるさと納税の年間見込額は、3億円となりました。

台風5号復旧工事費を可決 道路と河川で4億5千万円超

6年第4回定例会は、12月5日から10日までの6日間の会期で開きました。
5日と6日には、一般質問が行われ7人の議員が登壇(質問の内容などは8ページから12ページまで)。
昨年8月の台風第5号で被災した町道と町管理河川。災害査定結果を踏まえた災害復旧工事費などを、6年度一般会計7号補正予算など11議案を、全て全会一致で可決しました。

災害査定で24カ所決定

昨年8月の台風第5号で被害が出た町道と町管理河川の復旧にかかる費用を国が算出する「災害査定」。査定の結果、道路9カ所と河川15カ所の計24カ所で、概算被害額は4億5千万円余に上りました。

補正予算が可決し、復旧に向け準備を進めます。工事発注は春頃の予定で、7年度の完成を目指します。

県人勸に伴い一般職の給料など引き上げ

岩手県人事委員会勧告に伴い、一般職の給

12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6億1507万円	118億26万円
特別会計		
国民健康保険	1281万円	11億1724万円
介護保険(サービス勘定)	21万円	1191万円
観光事業	324万円	2億363万円
企業		
収益的支出	△5796万円	4億2372万円
資本的支出	△6483万円	2億3323万円

固定資産評価審査委員の 再任に同意

岩泉町固定資産評価審査委員会委員の松浦紀雄さん(小本・73歳)を再任することに同意しました。
任期は、3年間で。



教育委員の 任命に同意

岩泉町教育委員会教育委員の佐々木俊英さん(小川・62歳)を再任することに同意しました。
同委員1人の任期満了に伴い、金澤辰則さん(小本・38歳)を新たに委員に任命することに同意しました。
教育委員の任期は、4年間で。



【新任】
金澤辰則さん



【再任】
佐々木俊英さん



整備が進むふれあいランド岩泉

◆地域における受入環境整備促進事業補助金

ふれあいランド岩泉の再整備事業で、2つの国庫補助金を活用した追加整備が可能となり、増額補正しました。

に足元照明を設置！。

国の補助活用し追加整備 ふれあいランド岩泉

◆観光振興事業補助金

インバウンド対策に対する補助。▽屋外広場にプロジェクトマップの設置▽屋外広場の階段修繕▽噴水広場改修▽多言語(英語・中国語)案内看板の設置！。



台風第5号による公共土木施設災害復旧事業の施行箇所

町産材の供給体制を強化



町産材の地消地産は地域の林業・木材産業の活性化に

条例補正予算審査特別委員会(富山昌典委員長)は12月10日、付託された条例6件、補正予算5件を審査しました。

地域内の持続的な木材生産、流通体制を維持していくため、木材製材加工施設の整備を支援。安定的な町産材の供給体制を強化します。補助対象となる木材乾燥設備などに質疑がありました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

業 木材乾燥設備の容量は 林 1加工当たり10立方メートル

問 整備される木材乾燥設備の容量は。

減効果が見込まれる。

答 縦2・5メートル×横6メートル×高さ2・5メートル、1加工当たり10立方メートルの乾燥能力になる。

問 短時間で乾燥させた場合に、乾燥後の品質状態の検証は済んでいるのか。

答 既存の設備では、5日要していたものが、2、3日で済む。ランニングコストの削減

答 今回の設備は電気を使用し乾燥させる。遠赤外線では木材の中の水分が振動し蒸発。試験でも均一に乾燥が進む成果が出ている。既に実用化もされている。

ますの声

建築材は乾燥第一 幅野 義一さん (大川・71歳)

建築材は乾燥が第一だと思います。町内に建築物を建てようとする方は、町の補助金を使い町内産の木材を使用して、町内の工務店を活用していただければ活性化になると思います。



福祉 こども食堂の支援内容は 活動費と備品購入費補助



子どもからお年寄りまで幅広い交流が

問 地域には高齢者が増えており、こども食堂の活動が子どもたちの交流の場になる。活動の町民への周知は。

答 活動団体は「町おこし有志の会」。活動場所は、町民会館やさくらほうむ(※)を使っている。

問 広く町民に情報共有や周知を行い、バージョンアップしてよりよい事業にしていきたい。

問 活動回数と支援内容。

答 毎月開催している。補正予算の内容は、活動費15万2千円と備品購入費8万円。今後12月から3月までの4回開催を見込んでいる。

問 活動が見込まれる団体名と活動場所はどこか。

答 毎月開催している。補正予算の内容は、活動費15万2千円と備品購入費8万円。今後12月から3月までの4回開催を見込んでいる。

投票所 統廃合の方向性は 43から31投票区へ

問 投票所の統廃合に向け、アンケートなど実施し、今後の方向性を決めるとしていた。その後の経過は。

答 有権者50人以下の11投票区で、アンケート調査を実施。6年2月には該当する投票区の有権者へ個人ご

とに意向調査をした。16投票区、21自治会で説明会を開催。結果、12カ所の統合が可能であり、現在の43投票区から31投票区になる予定である。

問 投票が困難な人には「移動投票車」を考えているとのこと

答 統合前の投票所を基準にして移動投票車を配車していく考えである。

問 投票所の統廃合と移動投票車はいつから適用する予定か。

答 令和7年7月の参議院の通常選挙からを予定している。

だが、統合された12カ所に移動投票車を予定しているのか。

ますの声

移動投票車で歩いて投票へ 川端さゆりさん (安家)

年々地区から投票所まで遠く、家用車でっていますが、移動投票車が近くに来れば歩いて投票へ行けます。交通弱者の人たちは助かると思います。



(※) 障がい者グループホーム。旧岩泉幼稚園

龍泉洞 冬まつりの誘客数は 数百人を見込む計画

問 龍泉洞まつり運営事業の内容は。

問 SNSなど使って周知する考えは。

答 冬まつりを開催する。今年度から3年間実施予定。園地近辺のイルミネーションや洞内でのスカイランタン、町内事業所による飲食提供などを計画している。

答 来年度のプロモーション用の動画作成、SNS活用を予定している。

問 事業効果として何人ぐらいの誘客を見込んでいるか。

答 入洞者20万人達成には冬期1月当たり8千人程度必要。来年度以降の目標達成に向け町内ホテルと連携し事業化していきたい。

おしえてぴーちゃん

町産材の利用に対する補助金って？

岩泉町産の木材を使用して、町内に住宅などの建築物を新築または町内にある建築物をリフォーム、建築物に付随する外構工事に対する補助金です。

*補助金額

町産材の購入費(税抜き価格)の1/3補助

新築:上限300万円 リフォーム、外構工事:上限100万円



坂本 昇議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

ふたクラス
確保に期待
留学生

問 岩泉高校存続のため「いわて留学事業」に取り組んでいる。その成果は。

教育長 町内や近隣の中学校を訪問し、同校の「KIZUKIプロジェクト」の活動状況や進路の実績、町の厚い支援内容などを丁

寧に説明。岩泉高校の魅力を発信している。これまでの成果は、対面説明会に参加した中学2年生の動向に期待している。いわて留学事業での入学が実現すれば、継続した入学者が見込まれ、学校活動のさらなる活性化にもつながる。

問 専門員配置の見込みはあるか。

教育長 生徒の募集案内や生徒全般のフォローを行う専門員は、現在配置まで至っていない。先行実施校の取り組み事例も参考にしながら、確保に努めていく。

問 泉高存続に留学生誘致を 答 魅力や支援を発信し確保



有芸小の農業体験発表に泉高生がアドバイス
小・高連携の授業を展開

問 地域課題の解決やこれからの町づくりを考えたときに、まずは対話によるニーズ把握を徹底して行うことを提案する。

町長 これまでも、町政懇談会や各地区の行事、各種審議会など、さまざまな機会を通じて町民の皆さまとの意



対話を増やし、町民のニーズ把握を

問 関係人口の拡大を 答 情報発信強化する

問 地域課題の解決やこれからの町づくりを考えたときに、まずは対話によるニーズ把握を徹底して行うことを提案する。

町長 これまでも、町政懇談会や各地区の行事、各種審議会など、さまざまな機会を通じて町民の皆さまとの意

が必要不可欠。町が行なっているさまざまな施策や活動を広く町内外に認知していただくことは、町への投資や応援に結び付くことから、情報発信をさらに強化し、関係人口の拡大に取り組む。



畠山 昌典議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

とまりたい
この指とまれ
つくる知恵

一般質問



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。
スマートフォンはこちらから。

7人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。

12月定例会では、7人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容（9ページから12ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

坂本 昇議員（9ページ） ● 泉高存続に留学生誘致を

*その他の質問
水道施設の老朽化対策

畠山 昌典議員（9ページ） ● 関係人口の拡大を

*その他の質問
持続可能な地域活動支援

八重樫龍介議員（10ページ） ● 常設射撃場の整備へ支援を

三田地久志議員（10ページ） ● 魅力ある居住環境の整備は

千葉 泰彦議員（11ページ） ● 地域振興協議会の見直しは

*その他の質問
人口減少対応戦略
外部資源活用策：ふるさと納税の事務局事業の委託
外部資源活用策：地域おこし協力隊の選定基準と研修カリキュラム

林崎寛次郎議員（11ページ） ● 事業者・町民の物価高支援は

*その他の質問
高齢者・低所得世帯のエアコン設置への補助
住宅などへの太陽光発電設置への補助制度の創設
加齢性難聴者の補聴器購入助成

畠山 和英議員（12ページ） ● 酪農130年活性化策は

*その他の質問
畜産・酪農の振興策 ホルスタイン種全国共進会に向けた取り組み
自給粗飼料の確保策 生乳生産量の確保、増産対策
大牛内育成牧場の大規模改修整備の見通し



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

上下では
自発性なく
ワンチームで

問 地域振興協議会は
見直しの時期でない
か。人口減少で地域の
繋がりは乏しく、住民
自治が危機。地域振興
協議会は、集落形成事
業を基本とし、地域の
持続可能性を担保する
ことが必要では。

問 役場の業務は大胆
なスクラップアンドビ

立ちや個性、特長、年
齢構成なども勘案し、
未来の地域に何が必要
で、何を残していくの
か。地域住民が住みや
すく安全安心なまちづ
くりになるよう、研究
していく。

問 地域振興協議会の見直しは

答 地域ごとに何が必要か研究



協議会共催 早坂四季めぐり

ルドが必要では。

町長 見直しが必要。

地方交付税を含めた国
などの財源に紐づいて
いない、町単独事業の
洗い出しを行い、各事
業の統廃合や選択と集
中を行い、新たな事業
を推進する体制を構築
できるように取り組む。



食品の値上げラッシュで家計圧迫

問 食品値上げは、12
月628品目の予定。
年明け以降も約500
品目と、物価値上げの
オンパレードである。

中小事業者がコスト
を適正に価格転嫁でき
ない。農畜産業は飼料・
肥料費の高騰、漁業は
高水温で不漁が深刻化。

問 事業者・町民の物価高支援は

答 町内経済状況踏まえ取り組む



林崎 競次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

積み上がる
内部留保を
還元を

実質賃金も8月から下
がり、年金収入も追い
ついていない。「町内中
小事業者・町民を応援
する支援」はまたなし
の課題である。どんな
支援が必要と考えるか。

町長 これまでも、町
民生活に与える影響等
を踏まえながら、低所
得世帯や子育て世帯、
中小事業者、農林水産
業者など、あらゆる分
野に対し支援策を講じ
てきた。現在、国にお
いては、「住民税非課
税世帯に対する3万円
給付」を目指している
ところであり、本町で
も、国や県の対応、町
内経済状況などを踏ま
え、効果的な物価高騰
対策に取り組んでいく。



ライフル射撃可能な射撃場の整備に支援を

問 町の鳥獣被害防止
対策実施隊員は現在67
人。うちライフル銃所
持者は18人。乙茂地区
にある射撃場は、設備

の関係でライフル銃は
使用できない。県は狩
猟登録者に期間ごと初
狩猟前の射撃訓練を義
務付け。クマ類が「指

町長 クマなど大型獣
の有害捕獲頭数の増
加。ハンターの技術向上
と育成は急務と考える。
岩泉猟友会は岩泉常
設射撃場内にライフル
銃の射撃場を併設し、
実効ある有害駆除を推
進したい意向。現在、
整備に向け岩泉警察署
と協議している状況と
聞いている。猟友会と
情報共有しながら、町
としてどのような支援
が可能か検討していく。

問 常設射撃場の整備へ支援を

答 関係機関と情報共有し検討



八重 樫龍介議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

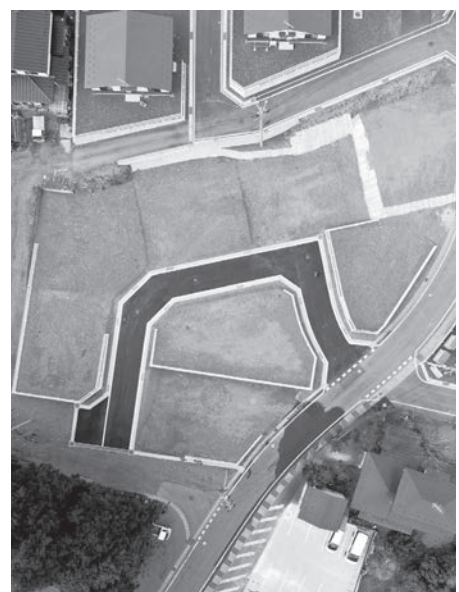


17文字の
ひとりごと

整備して
安心安全
確保する

問 魅力ある居住環境の整備は

答 空き家活用や分譲など推進



要望の多い宅地分譲（上町地区の整備当時）

問 岩泉町未来づくり
プラン後期基本計画の
重点プロジェクトの一
つ「魅力ある居住環境
の整備」の成果は。

か「公営住宅等長寿
命化計画」を策定し、
老朽化や需要の減少を
想定した改修、解体、
既存住宅の長寿命化な
どを進めた。

町長 これまで「町営
住宅の入居しやすい環
境づくり」では、若者
世帯と高齢者世帯の入
居要件を緩和。そのほ

「空き家・空き地バ
ンクの充実」では、ま
ず制度の周知を図った。
その結果、効果も着実
に現われ平成29年度の
運用開始から令和6年



三田 地久志議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字の
ひとりごと

住施策
独り言は
むずかしい

11月末までの登録件数
は76件。そのうち52件
が賃貸または売買契約
が成立するなど、15世
帯26人の移住者が現在
も本町に居住している。
「多様なニーズに対
応した宅地の供給」で
は、森の越地区の8区
画、袋綿地区の1区画、
上町地区の7区画の計
16区画を分譲した。



質疑のその後

どうなったか... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

問 消防団の処遇や環境整備は、さまざまな面で向上させていかなければならない。団員にエアコン設置のアンケートを実施。必要と不要の回答が半々だった。暑い中の災害対応など考慮し、再度、消防団や関係課と相談の上で検討していく。

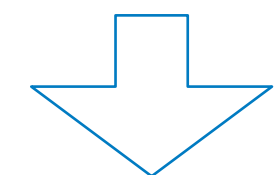
答

消防団の処遇や環境整備は、さまざまな面で向上させていかなければならない。団員にエアコン設置のアンケートを実施。必要と不要の回答が半々だった。暑い中の災害対応など考慮し、再度、消防団や関係課と相談の上で検討していく。

問 消防屯所のエアコンは、設置されている所とされていない所がある。酷暑の中で災害対応や訓練があったとき、屯所によって涼しく休息できる環境の有無に差があるのは問題ではないか。整備をどう考えるか。

令和5年第3回定例会
決算審査特別委員会

消防屯所

エアコンの設置を
6年度は4カ所に

令和6年第1回定例会
【新年度予算】

屯所の建築経過年数などを踏まえ、6年度は4カ所にエアコンの設置が決定。今後も計画的に整備を継続していく予定。

【設置箇所】

* 中家（2カ所）
* 袋綿
* 横道



消防団の活動支援のためにも計画的なエアコン整備を



畠山 和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 令和7年は酪農導入130年の節目の年。歴史ある酪農の町をどう盛り上げていくのか。

町長 国・県の飼料高騰対策などの動向を注視。町の支援策を検討したいと考えている。

問 畜産ふん尿処理・

問 現下の畜産物生産にかかる資材高への克服対策をどう講ずるか。

町長 県農業改良普及センター、JA、町からなる支援チームで、農地還元等の堆肥の有効な活用や管理方法など農家を交え協議し、新たな堆肥舎整備が必要な場合には補助制度の導入などを検討していく。

係者などとの協議・検討を進めていきたい。

処分で困っている農家の支援策を伺う。



本年は酪農導入から130年の節目の年

もっと開かれた議会へ
―傍聴と情報発信―

第4回定例会の傍聴者は、3日間で延べ6人。そのうち1人が町外、3人が報道機関で、町民は2人でした。

議会は、町の皆さんの生活に深く関わるさまざまな課題・問題に対し、活発な議論を行っています。傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

夜間・休日議会には費用対効果など課題

平日の昼間は仕事などで傍聴できない人が多い。そのため「夜間」や「休日」に議会を開催するところもあります。夜間・休日議会は、町民が参加しやすいか▽執行部職員が参加できるか▽費用対効果は高いか―などの課題があります。

令和6年定例会の傍聴者延べ人数 (人)

	町内	町外	報道	合計
第1回	11	0	4	15
第2回	16	1	3	20
第3回	2	1	2	5
第4回	2	1	3	6

傍聴に来られない人も議論の内容などを知ることができるよう「議会だより」「ホームページ」など情報発信を充実させ、議会への関心を高め、傍聴につなげる取り組みをしていきます。

情報発信に努め
関心から傍聴へ

まずの声

議会だよりで
審議や結果を

議会だよりには、議会の審議内容や結果がわかりやすく掲載されていて興味深く読んでいます。ネットの情報配信を充実させるのも重要だと思います。



鈴木翼さん
(小本・35歳)

まずの声

傍聴したいが
時間合わない

議会に興味があり傍聴したいと思いますが、時間が合わず行けなっています。夜間や休日開催、ネット配信などあれば身近に感じられると思います。



吉澤佳奈美さん
(小川・44歳)

おしゃべりちゃん



消防団のこと

消防団は、消火活動だけでなく、地震や風水害など災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動などとても重要な役割を果たしています。

平常時も、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒など地域に密着した活動を展開。地域の消防力・防災力の向上や地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

本町には、第1分団から第8分団まであります。

団員数（機能別含む） **454人**

定員数 617人 充足率は 73.6%
(R6.12.1 現在)

町内には、 **36 屯所** あります。



少子高齢化で団員の確保や消防力などを維持した再編の検討、企業との協働など課題となっています。

総務常任委員会（山形県西川町）は11月14日、山形県西川町の関係人口の創出をはじめとする、つなぐ、施策を調査しました。

西川町ではターゲットを「若者と富裕層」に、町の強みの「自然」と「人」を最大限に活用した観光策を展開。関係人口を拡大し令和5年度には社会増減ゼロを達成しました。

菅野大志町長が大切にしているのは、町民との対話が一体感を生みまわす。を推進しています。

総務 町民との対話 一体感を生む 山形県西川町

02
意欲向上



内藤副町長から伝わる町の魅力と
攻める政策への熱い思い

◆調査の着眼点

- ・関係人口創出をはじめとするつなぐ施策
- ・地域活性化の取り組みと住民との協働
- ・新規事業に取り組むための組織改革

◆調査の成果

- ・戦略的な関係人口増施策の展開方法
- ・国の補助制度取得への取り組み
- ・町民を巻き込む施策展開
- ・職員意識改革に向けた取り組み

【所感】

「かせぐ課」「つなぐ課」があることを知り、先進的な取り組みをしている町と興味深々で視察に臨みました。

現町長就任後、劇的に体制、意識改革が行われ、関係人口の増加や町の予算増額、町民を巻き込む施策を展開。多岐にわたり刺激を受けました。

今後の常任委員会活動や個々の議員活動に役立てていきます。

委員長 山形県 山形市 山形市議会 委員長 山形県 山形市 山形市議会



蔵を改修した農家レストラン

総務

地域資源を使って 住民が地域おこし 清流と山菜の里 ほその村

02
意欲向上

◆調査の着眼点

- ・地域資源を活用した地域おこし
- ・地域の全世帯が参加する住民主体の活動

◆調査の成果

- ・過疎地における助け合いの体制構築
- ・地域資源を生かした収入源構築と活用方法
- ・関係・交流人口獲得に向けた戦略

11月15日には、清流と山菜の里ほその村（山形県尾花沢市）で住民主体の地域づくりを調査しました。

【所感】

本町に似た風景の集落で、リーダーを中心に地域資源をフル活用した関係・交流人口の創出に向けた活動は、目を見張るものがありました。

旬の食材と打ち立て蕎麦の田舎膳を提供する農家レストラン。働くスタッフの笑顔が印象的で、笑って幸せに暮らせる地域づくりのヒントを感じました。

委員 早川ケン子



地元の旬な食材を使ったお膳



インバウンドにも注力

常任委員会 令和6年度重点課題

01 教育

02 町民の意欲向上

03 雇用の創出

04 町民の所得向上

05 身近な議会



議会で取り組む5つの重点課題
議会だよりNo.206
(4・5頁)

産業

観光＋農業の拠点を調査

道の駅川場田園プラザ

03
所得向上

産業常任委員会（三田地久志委員長）は11月6日、群馬県利根郡川場村の道の駅川場田園プラザで「観光＋農業」の拠点としての先進的な取り組みを調査しました。

◆道の駅川場田園プラザの概要

- ・従業員数 140人（うちパート、アルバイト100名）
- ・全国の道の駅グランプリ1位、全国道の駅最強ランキング1位など、国・県の機関や各新聞社、学会などから数々の表彰を受賞
- ・入園者数 年間250万人
- ・販売額 25億円
- ・産直施設の売り上げ 3・64億円（H22）
- ・農産物提供者数 350名
- ・生産者が値段設定。手数料15～20%

◆調査の着眼点

- ・観光＋農業（地消地産）の拠点としての先進的な「道の駅」の取り組み
- ・地場産品の振興と新規開発、商業・情報ふれあいの核であるタウンサイト（中心街区）として機能

◆調査の成果

- ・第3セクターの完全な民間感覚の経営
- ・運営方針「働く人のモチベーションが好循環を生む」
- ・お客様・農家生産者・納入業者の目線に立った経営
- ・社員教育の徹底



1日まるごと楽しめる工夫で数々の道の駅ランキングトップに

【所感】

フードコーナーも和洋中それぞれ独立した建物で営業することでお客様の好循環を得ています。野菜だけではなく加工品も農家と一緒に研究開発（ラ

ベルの作成まで）を行うことで、野菜などのロスを防ぎ農家の所得向上に寄与一日いても飽きない工夫が随所にあります。

本町では、ふれあいランド岩泉が新年度にリニューアルします。乙茂地区一体の面としての捉え方、ハブとしての全町への波及効果を研究していく必要があると感じました。

委員長 三田地久志

広報

行政視察2市町 受け入れました

▼10月28日

山形県南陽市議会
議会報編集委員会様



活発な質疑応答になりました

▼11月11日

宮城県利府町議会
議会広報常任委員会様

令和6年度視察（議会広報関係）の受け入れ

6市町

（6年12月末）

有志が伝統継承 小川みずまつり

表紙によせて

本町のみずまつりは、昭和62年に「氷柱まつり」として開催されたのが始まりで、平成5年に「みずまつり」に名称を変更。平成28年は台風第10号で中止。翌29年の第30回をもって一旦終了となりました。

そこで立ち上がったのが、地元の有志からなる小川みずまつり実

行委員会。伝統を継承するため「小川みずまつり」として、平成31年から開催しています。

搬送隊は極寒の小本川で水被い。大石沢の隠里弁財天で御水汲みをして、御水を中沢から一ツ苗代まで搬送します。「家内安全」「無病息災」を祈念し、まつりで地域を盛り上げます。



気合いの水被い（昨年のみずまつりの様子）

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。（全日程はQRコードで）



議会の動き

10月

- 12日 国道340号宮古岩泉間整備促進住民総決起大会（町内）
- 13日 二升石集学校開校式（町内）
- 25日 町村議会議員シンポジウム（盛岡市）
- 27日 「水と緑でつながる岩泉町・昭島市友好都市協定」締結10周年記念式典（町内）

11月

- 1日 いわての地域づくり・道づくりを考える大会（花巻市）
- 12日 岩手県選出国會議員との懇談会（東京都）
- 16日 町社会福祉大会・老人クラブ大会（町内）
- 26日 岩泉町表彰式典（町内）

12月

- 2日 議会運営委員会（役場）
- 5日 第4回定例会（議会議事堂、役場：10日まで）
- 6日 第5回議会全員協議会（役場）
- 10日 令和7年度町の施策に対する要望（役場）
- 24日 宮古地区広域町村議会連携会議（宮古市）

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 2月 6日(木) 町長施政方針演説
- 25日(火) 条例補正予算審査
- 26日(水) 条例補正予算審査
本会議
- 27日(木) 一般質問
- 28日(金) 一般質問
- 3月 4日(火) ～7日(金)
新年度予算審査
本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。



どなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴へお越しください

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
委員	坂本 昇
委員	昌典 和英
委員	昌典 和英

広報広聴常任委員

畠山和英

編集後記

今号巻頭記事は、議会から町への要望。町民の声を聴き、議会での議論し「介護サービス」の充実・継続など6項目を提言しました。提言への町の対応や実施結果は、町民らと評価・検証するなど議会広報広聴の役割として取り上げていきます。

今議員任期は3月定例会を残すのみ。委員と職員の7人での紙面づくりは広報全国コンクール1位、2位、昨年2位と連続上位入賞です。全国から視察に5、6年度各6団体が訪れました。今後も編集会議で侃々諤々話し合い、町民が待ち望む議会だよりを心掛けます。



いわいずみ

議会だより No. 209

令和7年1月16日発行

発行／岩泉町議会 発行責任者／議長 菊地弘巳

編集／広報広聴常任委員会 印刷／山口北州印刷株式会社

〒027-0595 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59番地5
TEL 0194(22)2111 内線252 FAX 0194(22)5566
https://www.town.iwawake.lg.jp/